

札幌市立美しが丘緑小学校
校長 稲上 敏 男

全国学力・学習状況調査結果のお知らせ

札幌市の令和8年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。本校児童(調査対象：6年生)につきましても、教科に関する調査の結果概要及び改善の方向と、生活習慣や学習習慣等に関する調査の傾向がまとまりましたので、お知らせいたします。今回明らかになった点を学校全体の課題として捉え、今後の教育活動に生かしてまいります。

◇生活習慣や学習習慣等に関する調査の結果

全国と比較して差異のある質問の中から、「○肯定的な回答の多いもの」「△肯定的な回答の少ないもの」を載せています。

1.【基本的生活習慣等】 ○ほとんどの子が朝食を毎日食べている。 ○同じくらいの時間に寝ている子が多い。 △同じくらいの時間に起きている子はやや少ない。 △普段、スマートフォン等で SNS や動画視聴などを2時間以上している子が多い。
2.【自己肯定感、将来について、規範意識、学校の楽しさや安心感等】 ○自分には、よいところがあると思っている子が多い。先生が自分のよいところを認めてくれていると思っている子も多い。 ○人が困っているときは、進んで助けていると思っている子が多い。人の役に立つ人間になりたいと思っている子も多い。 ○学校に行くのが楽しいと思っている子が多く、普段の生活の中で幸せな気持ちになることが多いと思っている子も多い。 ○友達関係に満足している子が多い。 △将来の夢や目標をもっている子がやや少ない。 △いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている子がやや少ない。 △困りごとや不安があるとき、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると感じている子が少ない。 △人と違う意見を言っても否定されないと思っている子が少ない。
3.【学習習慣、読書活動】 ○1日当たり30分～2時間以上勉強している子が多い。学校が休みの日にも同じくらい勉強している子が多い。また、PC やタブレットなどの ICT 機器を勉強のために使っている子もいる。 ○1日当たり30分程度の読書をする子は多いが、それ以上はやや少ない。 ○週や月に1～3回程度、昼休みや放課後に図書館を利用する子が多くいる。 △分からないことやよくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫できると思っている子がやや少ない。
4.【社会への参画意欲】 ○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている子が多い。
5.【ICT スキルの自己評価と授業における活用】 △PC やタブレットなどの ICT 機器で文章やプレゼンテーションを作成したり、情報を収集・整理したりすることができると思っている子が少ない。
6.【主体的・対話的で深い学び】 ○自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると思っている子が多い。 ○学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思っている子が多い。

○授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思っている子が多い。 ○授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思っている子が多い。 ○国語・算数の勉強が得意で好きだと思っている子が多い。また、内容がよく分かるとしている子が多い。 ○国語・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思っている子が多い。 ○国語の授業では、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれると思っている子が多い。また、うまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれると思っている子が多い。 ○国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていると思っている子が多い。 ○算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えていると思っている子が多い。 ○英語の勉強が得意で、将来、積極的に英語を使うような生活をしたたり職業に就いたりしたいと思っている子が多い。 △国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていると思っている子が少ない。 △算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていると思っている子が少ない。 △算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていると思っている子が少ない。
7.【総合的な学習の時間・特別活動・道徳】 ○学級会における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めていると思っている子が多い。 △総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思っている子がやや少ない。

◇学力調査の結果

全国の平均正答率と比較して、全国平均と同じものは「ほぼ同程度」、±3ポイント以内の差のものは「全国平均と比べ、ほぼ同程度であるが、やや上回る、やや下回る」、3.1ポイント以上の差のものは「上回っている」「下回っている」としています。

	本校の概要	課 題	改善の方向
小学校 国語	□〔知識及び技能〕の「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・既習の漢字を文の中で正しく使うことができるについては、全国平均より上回っているが、比喻や反復等の表現の工夫に気づくについては、全国平均よりも下回っている。 □〔知識及び技能〕の「情報の扱い方に関する事項」 ・情報と情報の関係を理解するについては、全国平均より上回っているが、情報と情報との関係づけの仕方については、全国平均よりもやや下回っている。	●比喻や反復等の表現の工夫に気づくことができる。 ●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。	○これまで触れた比喻や反復、倒置などの表現の工夫と、それらを用いる良さや効果について整理する学習活動の充実。 ○必要な語句を丸や四角で囲む、関係する語句を線でつなぐなど、目的に応じて図示しながら情報を整理する学習活動の充実。

	本校の概要	課 題	改善の方向
	□〔思考力、判断力、表現力等〕の「話すこと・聞くこと」 ・相手に伝わるように、話の構成を考えたり、表現を工夫したりするについては、全国平均より下回っている。 □〔思考力、判断力、表現力等〕の「書くこと」 ・文章の構成や展開を考え、引用して書き表し方を工夫するについては、全国平均よりやや下回っている。 □〔思考力、判断力、表現力等〕の「読むこと」 ・全国平均よりもやや上回っている。	●相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。 ●資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。 ●引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。	○具体的な相手や目的を意識し、相手の知らない事には丁寧な理由付けを行い、相手が理解しやすい具体例を挙げるなどの攻勢を考える学習活動の充実。 ○目的や相手、状況などを踏まえ、資料の活用による効果を予想しながら、話す内容と資料との整合性、資料提示の仕方などを工夫する学習活動の充実。 ○引用の目的を明確にし、本や文章などから必要な語句や文を抜き出して書く学習活動。正確に引用することや、引用した部分と自分の考えとの関係などを明確にし、区別して書く学習活動の充実。
小学校算数	□「数と計算」 ・整数と少数の減法の計算については、全国平均より上回っているが、四捨五入して概数で表すことや分数の大小を判断するは下回っている。 □「図形」 ・立方体の体積の計算や箱の形の構成については、全国平均よりも下回っている。	●数を四捨五入して、概数で表すことができる。 ●異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できる。 ●立方体の体積の計算による求め方について理解している。	○概数を実感として捉えられるように、数直線を用いて「見える化」を図る学習活動の充実。 ○分数の意味や表し方に基づいて異分母の分数の大小を判断できるよう、通分や通分以外の方法で大小を比べる学習活動の充実。 ○面積の求め方を基に、体積の求め方を考察する学習活動の充実。単位立方体の個数（縦×横）を基に、何段積み重なっているかを理解できる学習活動の充実。

	本校の概要	課 題	改善の方向
	□「測定」 ・数量の関係に着目して、時間を計算で求めるについては、全国平均よりもやや下回っている。 □「変化と関係」 ・百分率や割合、単位量当たりの大きさの求め方については、全国平均よりも下回っている。 □「データの活用」 ・帯グラフの読み取りについては、やや上回っているが、二つの表の集計の仕方や条件に合う数を読み取ることについては、全国平均を下回っている。	●直方体の箱の形を構成する面について理解している。 ●体積の意味について理解している。 ●示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができる。 ●百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることができる。 ●単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商からどちらの方が混んでいるのかについて判断できる。 ●基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができる。 ●二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができる。	○具体物の操作活動を通して、頂点、辺、面の個数や辺の長さを考える学習活動の充実。長方形や正方形の性質と関連付けて、箱の形について理解を深める学習活動の充実。 ○1立方センチメートルの立方体ブロック等の具体物を敷き詰めたり積み上げたりする活動を通して、「かさ」を「1立方メートルがいくつ分」という数値化につなげる学習活動の充実。 ○「時刻・時間」の計算では、情報を図に整理して数量関係を捉え、論理的に計算する学習活動の充実。 ○問題場面から基準量・比較量・割合の関係を捉え、図を活用して立式・計算できるようにする学習活動。百分率を理解・活用させる学習活動の充実。 ○片方の量をそろえる必要性に気付かせる。図や数直線を用いて「単位量当たりの大きさ」を求める式の意味を理解させ、その値をもとに混み具合を正しく判断できるようにする学習活動の充実。 ○図を用いて基準量とさまざまな比較量を比べ、倍の関係の意味を理解させ、割合の概念の理解を深めさせる学習内容の充実。 ○2つの項目の数値の読み取り、行・列の合計の意味を理解させ、2つの観点による数値の分類や整理、表の作成ができる学習活動の充実。

◇結果について

- 自己肯定感が高い。
- 社会参画意識をもっている。
- 主体的に決める自治的な活動の力が育っている。
- 国語、算数、英語への意欲が高い。
- 「主体的・対話的で深い学び」につながる意識が高い。
- △「主体的な探究を表現」に課題がある。
- △スマホや動画視聴の長時間化。



本校の子どもたちは、自己肯定感が高く、「地域や社会をよくしたい」「困っている人を助けたい」といった社会参画意識をもっています。学校を楽しんでいると感じ、学級での話し合いを通して、主体的に決める自治的な活動の力も育っています。

これらの土台となっているのが、ご家庭の支えによる基本的な生活習慣かと思われます。規則正しい生活習慣の形成は、学習意欲や気力、体力の向上につながる要因として子どもの健やかな成長に必要不可欠なものです。ご家庭での日々の声掛けや習慣づくりによって、学習意欲が支えられ、学習環境が整えられていることがわかります。心身の安定は、「自分にはよいところがある」という自己肯定感の高まりにも作用していると思われます。

学習面では国語・算数・英語への意欲が高く、分からない問題にも粘り強く挑む姿勢が見られます。

「自分の考えを工夫して伝える」「学習した内容を次につなげる」「学んだことを次の学習や生活に生かす」といった「主体的・対話的で深い学び」につながる意識がとても高いです。対話的な活動を通して自身の考えを深め、「何を学び、次にどう生かすか」を主体的に振り返ることで、「確かな学び」へとつなげています。「主体的な探究と表現」には今後の課題も見られました。タブレットの操作や発表の工夫には自信をもっている反面、総合的な学習の時間で自ら課題を立てて探究することや、国語での表現、算数を実生活で活用・説明することには苦手意識があるようです。

生活面ではスマホや動画視聴の長時間化と起床時間のばらつきが見られます。学校の大人への相談のしやすさや道徳・規範意識の向上も改善していきたい部分です。

学校では、子どもたちの「わかった」「できた」と実感できる授業づくり、国語・算数における基礎学力の底上げ、安心して通える学校・学級づくり等に努めて参ります。ご家庭におかれましても、「家庭での学習」への声かけや、生活リズムの見直し、スマホの利用ルールの確認など、温かいサポートをお願いいたします。

引き続き、学校だよりや学年だより、教育説明会、ホームページ、懇談会などを通して、子どもたちの様子をお伝えしていきます。学校と家庭が連携し合い、子どもたちのよさを伸ばし、課題をともに改善していけるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。